

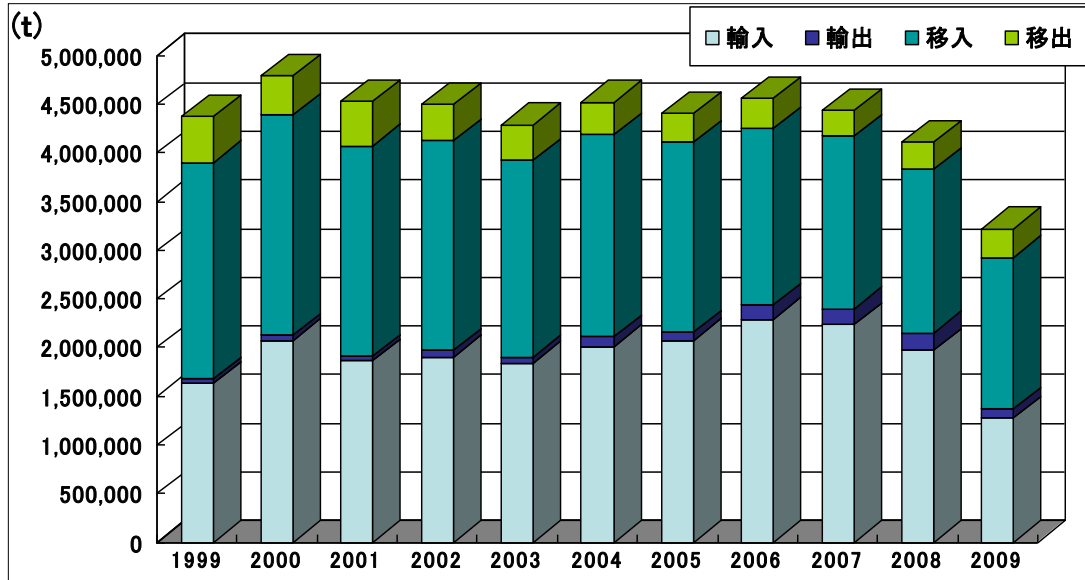
定期貨客船を活用した 環日本海諸国との交流



平成22年10月22日(金)
鳥取県商工労働部長 山根 淳史

境港の概要（取扱貨物量）

■全体貨物



■2009貨物の傾向

全体数量：322万トン（前年比 21.7%減）
 外国貿易：136万トン（前年比 36.5%減）
 輸出：93万トン（前年比 48.6%減）
 ・紙・パルプ、非鉄金属、再利用資材（古紙等）
 輸入：127万トン（前年比 35.4%減）
 ・木材チップ、原木、非金属鉱物（クレー等）

■主な貿易相手のコンテナ数

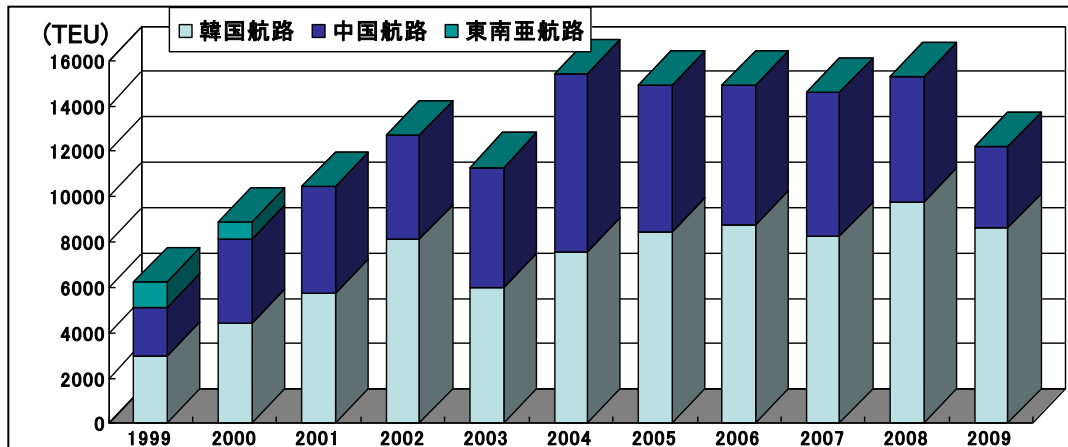
順位	国名	TEU	
		2008年	2009年
1	中国	8,982	7,076
2	韓国	2,039	1,474
3	アメリカ	1,073	782
4	フィリピン	965	768
5	タイ	924	681
6	シンガポール	307	394

◆コンテナ貿易の相手国

コンテナ航路毎の取扱数は、韓国航路が中国航路を上回るが、コンテナ貨物の貿易相手国では、中国との取引が他国に比べて、圧倒的に多い。

※中国には香港を含む

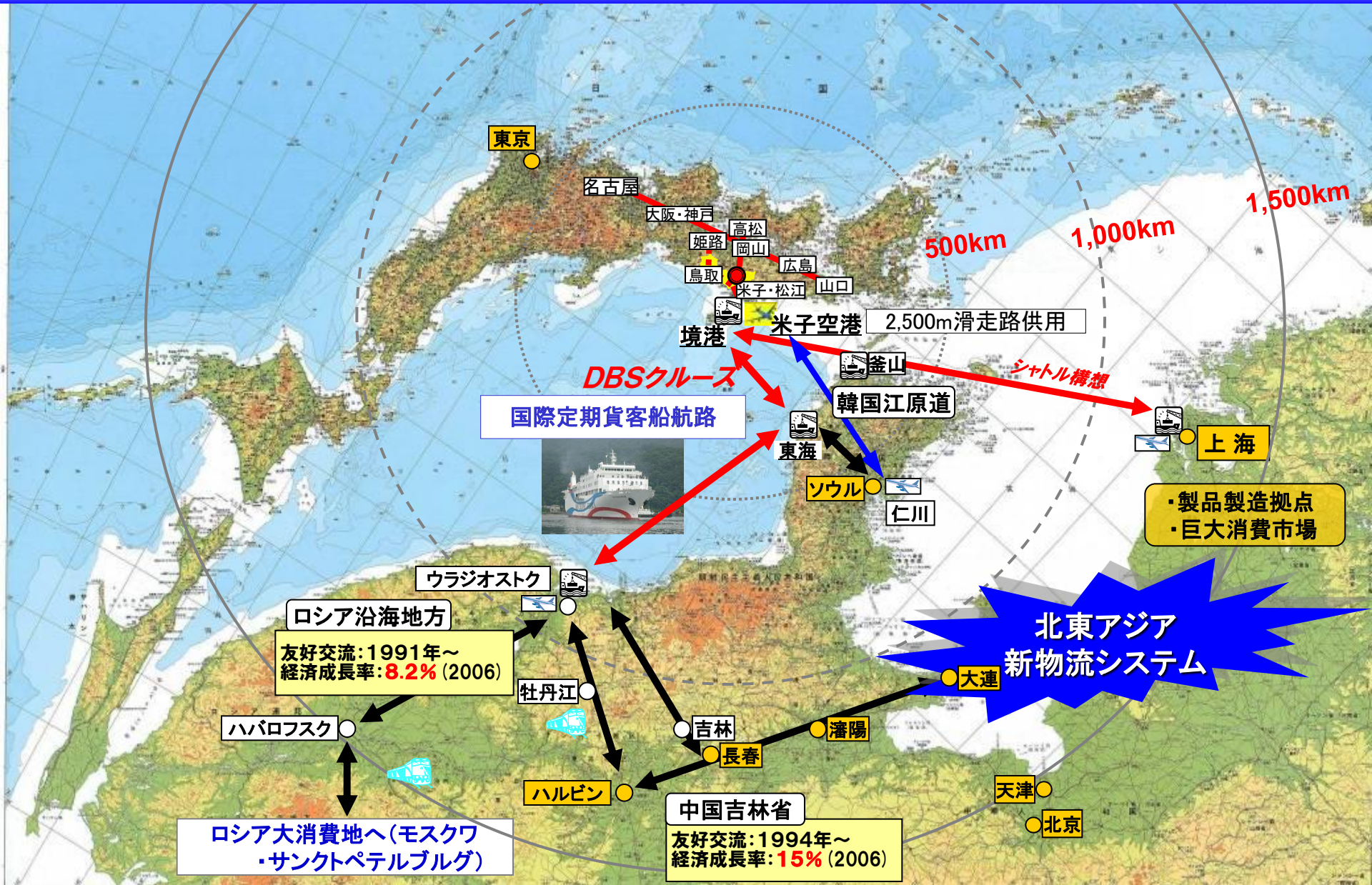
■コンテナ取扱量(実入)



■2008 コンテナ貨物の傾向

- * 全体数量：12,209TEU（前年比 20.1%）
- * 韓国航路：8,631TEU（全体の71%）（輸出：紙・パルプ、産業機械・水産品、輸入：非金属鉱物、木製品、製造食品）
- * 中国航路：3,578TEU（全体の29%）（輸出：非鉄金属、再利用資材、輸入：電気機械、鉄鋼、製造食品）

鳥取はアジアへ開かれた環日本海地域の拠点



※富山県が作成した地図の一部を転載

北東アジアゲートウェイ構想

北東アジアゲートウェイ

- ・鳥取県を西日本における北東アジアへの玄関「北東アジアゲートウェイ」への発展を目指す。
～海の拠点「境港」、空の拠点「米子きたろう空港」～



昨年6月に就航した3カ国を人、物の両面で結ぶ環日本海定期貨客船は、県内企業の販路拡大、港湾利用による企業立地、地元雇用、観光客増加などが期待される。

環日本海定期貨客船



平成21年6月29日就航

(境港へは6月30日初入港)

※3カ国を結ぶ国際定期貨客船は日本で
唯一の存在となっている。

<船舶の名称> イースタンドリーム号

<船舶の諸元 (2009. 6. 5現在の資料による) >

■総トン数 14,000トン級

■旅客定員 約458名

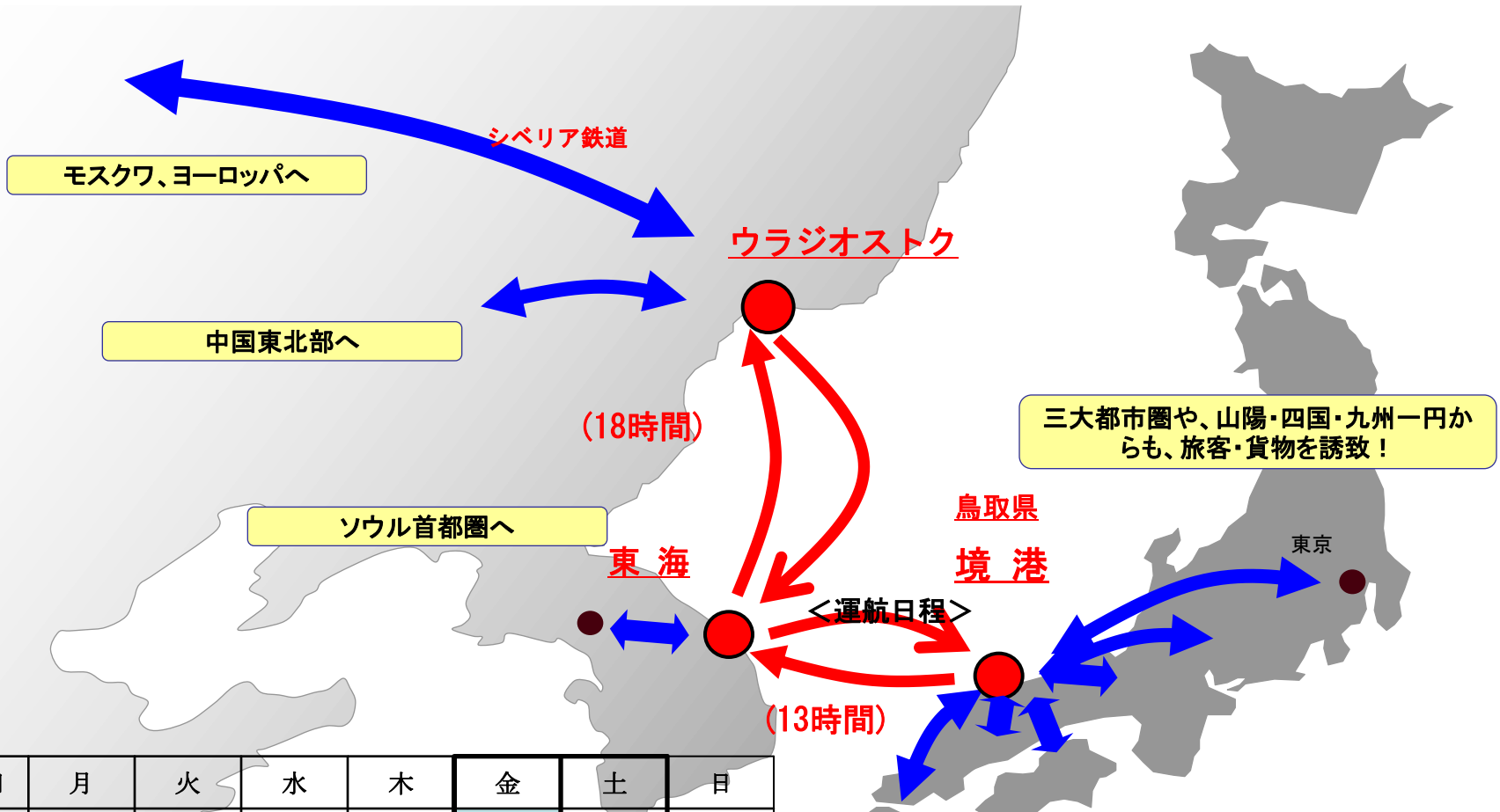
■貨物積載 約130TEU

<主な船内設備> インターネットゾーン、ナイトクラブ など

<運航会社> DBSクルーズフェリー(株)

[本社:韓国東海市]

北東アジア地域を結ぶ新たな国際定期貨客船航路 (DBS Cruise Ferry) 2009年6月29日就航



曜日	月	火	水	木	金	土	日
入港	13:00 ウラジオ ストク			9:00 東海	9:00 境港		9:00 東海
出港			14:00 ウラジオ ストク	19:00 東海		19:00 境港	16:00 東海

区分	境港→東海	東海→境港	境港→ウラジオ	ウラジオ→境港
旅客	プレミアムスイート	1室183,700円	1室357,000円	
	ロイヤルスイート～スタンダード	35,000円～8,500円		67,000円～22,000円
貨物	20フィート コンテナ	550ドル	1,100ドル	850ドル
	40フィート コンテナ	1,000ドル	1,900ドル	1,450ドル

貨客船（フェリー）の優位性

●韓国東海岸と日本を結ぶ初めての航路

- ・境港～東海を週1便・13時間(一晚)で連絡
- ・東海～ソウルは高速道路で3時間
- ・境港からソウル首都圏へ24時間以内に貨物を届けることが可能

●ロシア極東と西日本を結ぶ唯一の定期貨客船航路

- ・境港～ウラジオストクを週1便・2日で連絡
- ・ロシア極東への西日本一円からの旅客・貨物の誘致

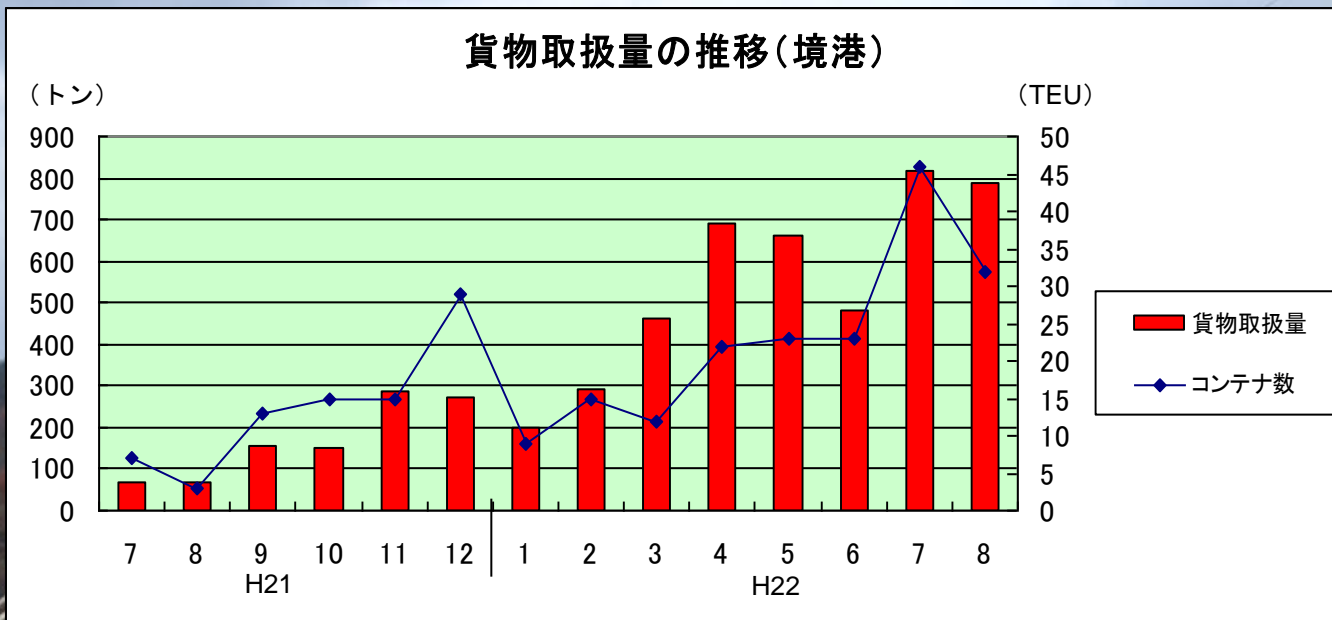
●モスクワ・ヨーロッパ及び中国東北三省への新たな物流ルート

- ・ウラジオストク・シベリア鉄道経由でモスクワまでの輸送時間を大幅に短縮することが可能
(海上輸送35日～40日→新航路活用20日程度)
- ・ウラジオストク経由で中国吉林省など東北三省への物流も期待

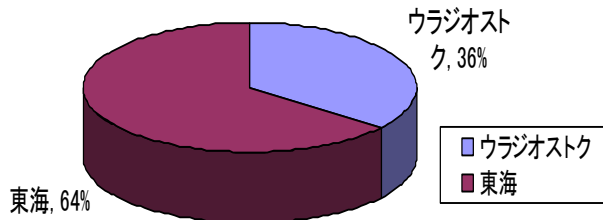
●高い輸送品質と多様な貨物の輸送

- ・船腹に貨物を収納するため気象条件等による貨物への影響を最小限に抑制できる。
- ・旅客も同時に乗船し運航されるため、定時制に優れている。
- ・コンテナ化の困難な重量物や長尺物の輸送に適す。(バルク貨物、活魚車等の車両、船舶等)

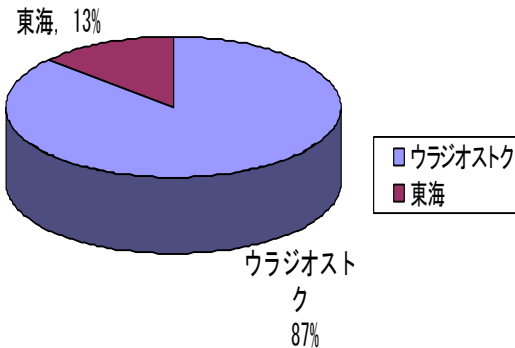
定期貨客船の貨物状況



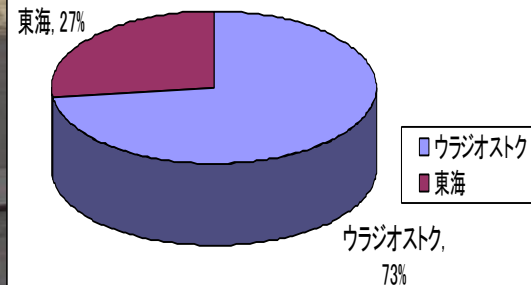
貨物取扱量(輸入)



貨物取扱量(輸出)



貨物取扱量(合計)



松江大根島牡丹のロシアへの輸出

定期貨客船を利用してロシアウラジオストクへ輸出



松江大根島牡丹ロシア輸出セレモニー

○H22.8.22 「松江大根島牡丹」ロシア輸出セレモニー
牡丹普通苗 700本を輸出

○H22.9.25 ウラジオストク牡丹展示商談会
市民1000人が来場。100鉢が完売



ウラジオストク牡丹展示商談会

貨客船就航による物流の拡大

「ロシアの柱」鳥取県境港支部 開設
(H22. 9. 1)



主なトピックス

- ◆就航以来、定時運航性を継続中。
- ◆貨物についてはベースカーゴ(航路維持のための主力貨物)の確保が大きな課題だが、韓国からの農産物輸入、ロシア向けの自動車部品関係輸出など、取扱量は増加傾向。
- ◆ロシア企業が境港に事務所を開設するなど、新たなビジネスも生まれつつある。

運航実績(21年6月29日~22年10月3日)

項目	合計	境港 ~ 東海	東海 ~ ウラジオ
運航回数(往復)	188	123	65
乗客数(人)	52,066	38,751	13,315
平均乗客(人)	276	315	204
取扱貨物量	454 TEU (20フィートコンテナ換算) + バルク貨物(車両、部品等)		

韓国より初めて農産物(パプリカ)を輸入。
(H22.7.9)



ウラジオстокに向けて、県内産すいか・メロンを輸出(7月11日)



環日本海定期貨客船を活用した県農産物を輸出

新たに就航した境港と韓国(東海:トンヘ)とロシア(ウラジオストク)を結ぶ定期貨客船を利用した本県農林水産物のテスト輸出を実施

すいか輸出の概要

○H21、22年と続けてロシアへスイカを輸出。

○H22 年度にはメロンも輸出し好評を得た。



試食した人は、「甘くておいしい」と大好評

平成22年9月には21世紀なしを輸出・試食会実施

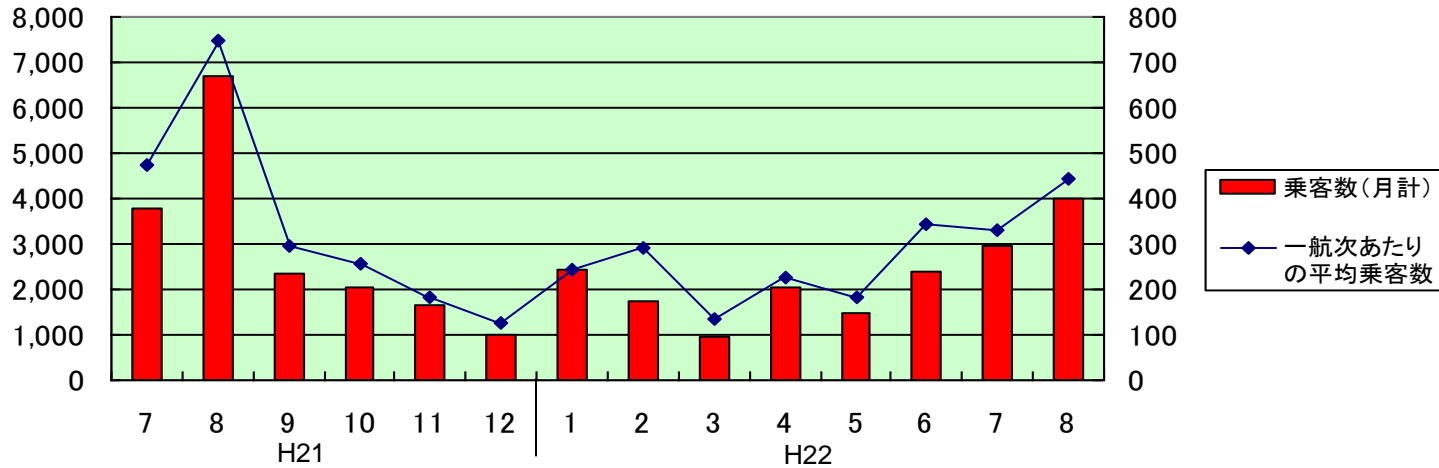
○県内特産品の21世紀なしをウラジオストクへ輸出。

○広島県産ピオーネも同時に輸出し、今後、他県との連携も視野に定期貨客船を利用した農業、物流促進が期待される。

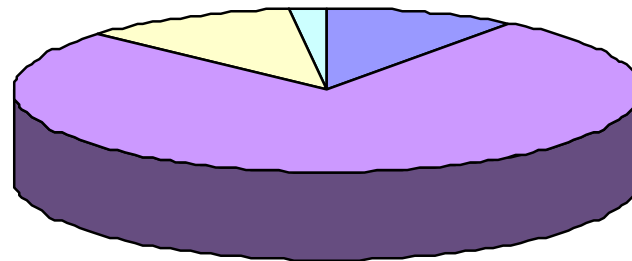


定期貨客船の旅客状況

旅客数の推移(境港⇄東海)



ロシア人 11% その他 2% 日本人 10%



韓国人
77%

- 日本人
- 韓国人
- ロシア人
- その他

定期貨客船の旅客利用

貨客船の特徴でもある旅客については、増加傾向にあり
今後更なる飛躍が期待される。



鳥取県で撮影された韓国ドラマ『アテナ』
放映による効果も期待される。

(上) 撮影スタッフが定期貨客船を利用して入国



海外でも自転車が人気。フェリーなら
利用者も便利。

人の交流の活発化①

定期貨客船の就航している3地域で青少年交流の実施



交流試合の風景

サッカー交流(H22. 7. 30~8. 1)
○ウラジオストクのサッカーチーム18人が
境港の中高生と交流試合等を実施



ビーチサッカーも実施→

人の交流の活発化②

○境港市で開催された
『日韓口国際交流
第10会きたろうカップ境港駅伝競争大会』
にウラジオストク市と東海市が参加。
(H22. 10. 17開催)



ウラジオストク市チームの襷リレー



(左) 境港市表敬

環日本海定期貨客船 就航1周年事業

定期貨客船の就航1周年を記念して様々な行事を実施



1周年就航セミナー (H22.6.27)



日韓ピースウォーク (H22.6.17)



鳥取県・江原道輸出企業商談会 (H22.9.28)



船内見学会 (H22.8.8)

ビジネスサポートセンター

●環日本海定期貨客船航路の安定運航に向け、鳥取県内企業等のロシアビジネス展開を支援する拠点として、2010年2月、ロシアウラジオストク市内に「Tottori Trade Center」を開設。

【主な業務内容】 ※実施主体 環日本海経済活動促進協議会

○現地情報の的確な把握とリアルタイムな情報の入手

(刻々と変化する現地情勢、不明瞭な通関検疫制度、商習慣等)

○複雑な許認可の取得支援 (スムーズな輸出入の実現)

○ビジネス展開をすすめていく上でのロシア側人脈の構築

○現地拠点及び現地窓口としての企業リスクの軽減、事業展開サポート

○ウラジオストクを拠点にしたモスクワマーケット等他地域 (大消費地) への足がかり構築

○ロシア側バイヤーへの日本側商材のリアルタイムなアプローチ

○日本側商材及び販促資材の展示、情報発信

○訪口団の現地コーディネート 等



<境港ロシアビジネスサポートセンター>

住所 鳥取県境港市竹内団地255-3

電話 (0859) 47-3905

FAX (0859) 47-3906

E-MAIL rus@sakaiminato-faz.co.jp



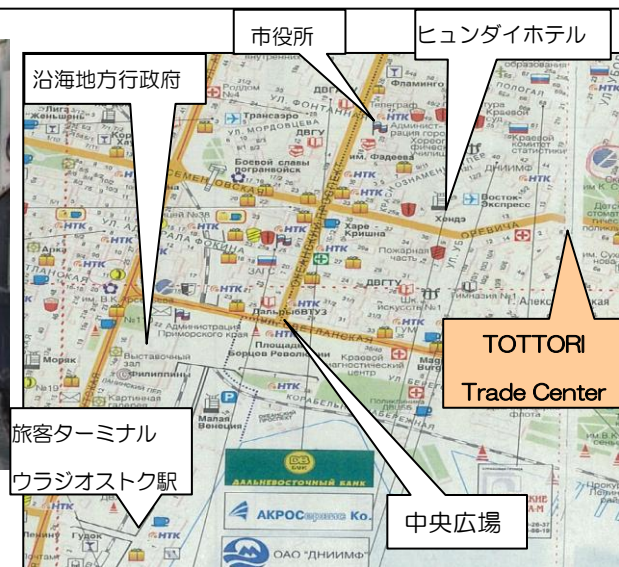
<ウラジオストク

ビジネスサポートセンター>

住所 ロシアウラジオストク市スハノヴァ通り6番

電話 +7-4232-433-039 FAX +7-4232-432-390 E-MAIL info@japantottori.ru

開所時間 年中無休 (ただし土日、年末年始は受付のみの対応) 10:00~18:00 (現地時間)



北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット



平成22年5月25日(第15回開催)

- 日本・鳥取県、韓国・江原道、ロシア沿海地方、中国・吉林省、モンゴル中央県の地方政府におけるサミット
- 各地域がリーダーシップを発揮し、環境・経済などで更に連携協力することで一致



鳥取県、江原道(韓国)、沿海地方(ロシア)で
「鳥取県・江原道・沿海地方定期航路発展に関する覚書」
を締結

- 人的・物的交流の拡大及び航路の発展に共同で取り組むことを確認

鳥取県・江原道・沿海地方航路活性化協議会

環日本海定期貨客船が結ぶ3地域の行政及び民間の関係者が一堂に会し、現状や課題を情報共有し具体的な取り組みにつなげるための航路活性化推進協議会を初開催 (H22.3.16)

(於: 鳥取県)



【結果概要】

- 北東アジア貿易・観光情報センター(情報提供サイト)の具体的な協議を開始。
- 鳥取県で、環日本海定期航路就航1周年を記念し青少年交流事業を開催。
- 3地域が協力して、観光情報の広報や説明会実施のための協議を開始。
- 貿易の拡大に向けた企業情報の共有、合同ポートセールス、試験輸送の実施等について、積極的に協力。
- 鳥取県・江原道輸出企業展示商談会(6月、東海市)など輸出入の拡大に向けた商談会やバイヤー招請などに各地域が積極的に協力する。
- 各国のCIQ体制、物流環境等の充実・改善に向けた国の関係機関への働きかけに各地域が連携する。
- 「TOTTORI Trade Center」の効果的な運営、利活用の促進について、各地域が相互に協力する。



大図們江イニシアチブ (Greater Tumen Initiative(GTI))

■ 概要

国連開発計画(UNDP)が計画を推進する形で、中国、ロシア、モンゴル、北朝鮮及び韓国の周辺5か国政府が協力し、中国、ロシア、北朝鮮が国境を接する地域を中心として、エネルギー、環境、投資、物流、観光等分野で地域経済の一体的な発展を推進する開発計画・プロセス。

具体的な各国内対象地域は、中国・東北3省及び内モンゴル自治区東部、ロシア・沿海地方、モンゴル・東部地区、北朝鮮・羅津先鋒地区、韓国・東部沿岸地区。

なお、2009年11月、北朝鮮が本計画から脱退したため、現在は4か国となっている。

日本は対北朝鮮の観点からオブザーバー参加に止まっているが、各国は資金協力への期待から、繰り返し日本に参加を要請中。

【GTIプロジェクト】 【GTI対象地域】



セクター	個別プロジェクト
輸 送	1 北東アジア地域のフェリー航路インフラの枠組み 2 ザルビノ港の近代化 3 モンゴル-中国鉄道の建設 4 琿春-マハリノ(クラスキノ)鉄道の再開 5 中国・北朝鮮国境間の道路、港湾プロジェクト
エネルギー	6 GTI地域エネルギーのキャパシティビルディング
観 光	7 GTI地域観光のキャパシティビルディング
投 資	8 GTI参加国職員向けのトレーニングプログラム
環 境	9 GTIの環境協力: 大図們江地域の越境環境アセスメントと北東アジアの環境の標準化に焦点を合わせる 10 図們江の水保護の実行可能性調査

GTI運輸部会への参加

1 GTI交通委員会第1回会合の概要

(1)日 時 2010年6月25日(金)

※前日に関連セミナー「GTI交通プロジェクト促進エキスパートセミナー」開催

(2)場 所 韓国釜山市庁

(3)主な内容 「GTI Transport Action Plan2010-2012」を策定し、当該期間中の交通部門における活動の方向性を示す。

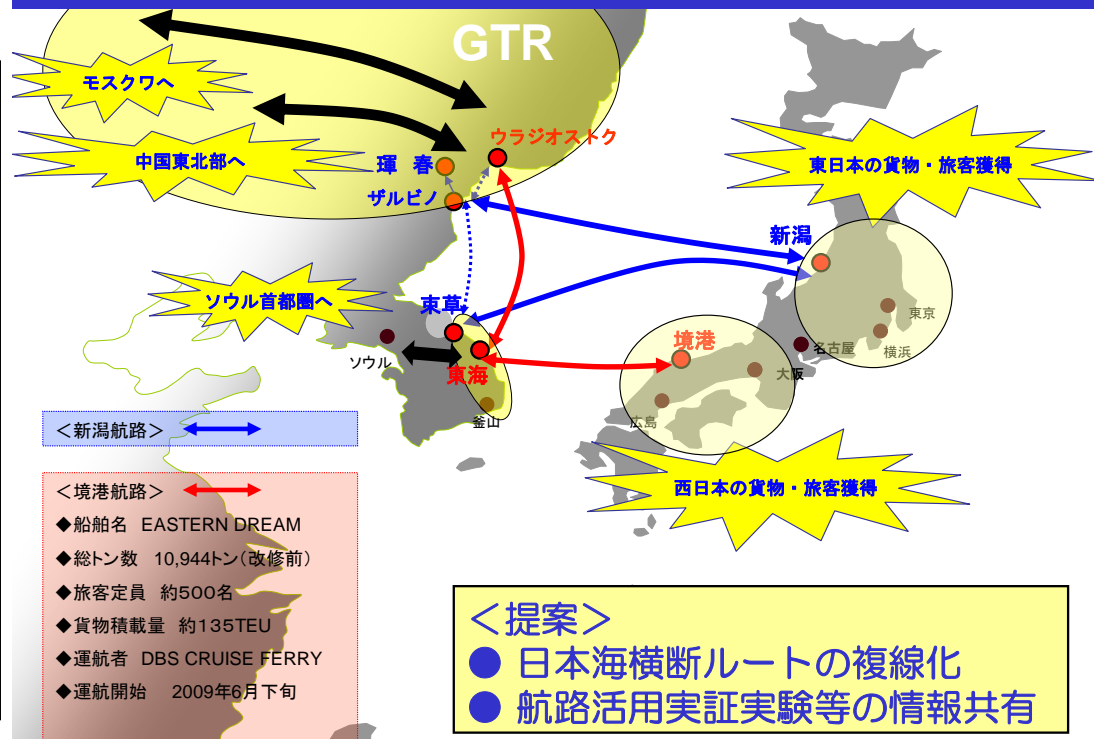
2 出張者(4名)

商工労働部長、通商物流室長ほか2名

【GTI交通委員会の概要】

- ・2009年3月にウランバートルで召集された第10回GTI諮問委員会で設立された組織。
- ・GTI加盟国の交通担当省の幹部職員で構成。
- ・交通インフラの構築とロジスティクスネットワークの形成に向け、GTI加盟国間の経済協力を促すプラットフォームとして機能することが期待されている。

北東アジア地域とのさらなる経済交流発展に向けて

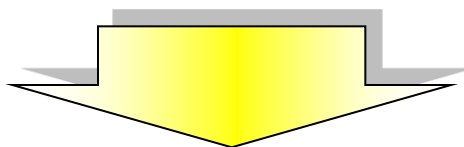


GTI専門家セミナー・シンポジウム

GTI専門家セミナー及びシンポジウムの開催

【 概 要 】

- 中国、ロシア、モンゴル、韓国の4か国が協力して進めているGTIの運輸事業サブプログラムに環日本海圏航路が盛り込まれたことを受け、GTI運輸事業を促進するための具体的な方法を議論するGTI運輸プロジェクト促進専門家セミナーを鳥取県で開催。
- あわせて、環日本海圏航路の利用拡大に向けた新たな可能性を考えるシンポジウムを開催。



GTIセミナーやシンポジウム、その他機会を捉えて、

- 環日本海圏航路の認知度向上
- 中国北東部ーウラジオストクー東海ー境港を結ぶ新たな輸送ルートの開発

など環日本海圏航路の新たな可能性について情報を発信。